

# 都内中小企業の事業資金に関する調査

(令和3年11月調査)

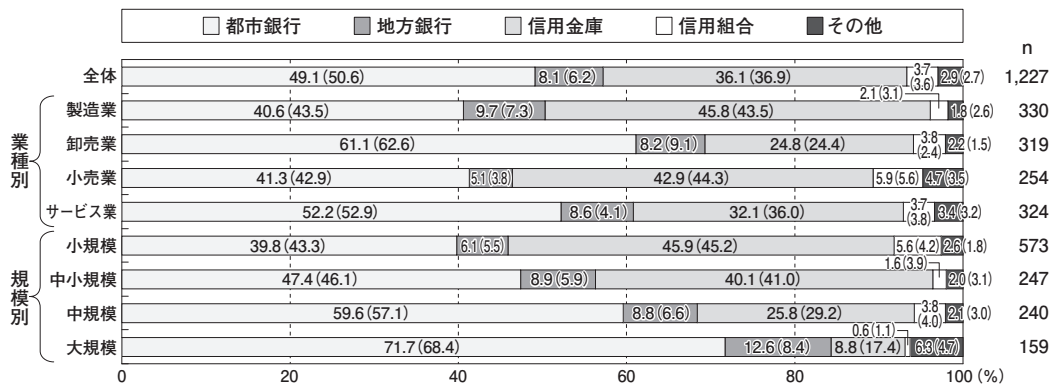
## 1. 主な取引金融機関

主な取引金融機関は、全体では「都市銀行」が49.1%（前回調査50.6%）で最も高く、次いで「信用金庫」が36.1%（同36.9%）、「地方銀行」が8.1%（同6.2%）、「信用組合」が3.7%（同3.6%）の順であった。

業種別にみると、卸売業は「都市銀行」が61.1%（同62.6%）と最も高い。製造業と小売業では「信用金庫」がともに4割を超える。

規模別にみると、規模が大きくなるほど「都市銀行」の割合が高く、大規模では71.7%（同68.4%）を占める。

図表1 主な取引金融機関



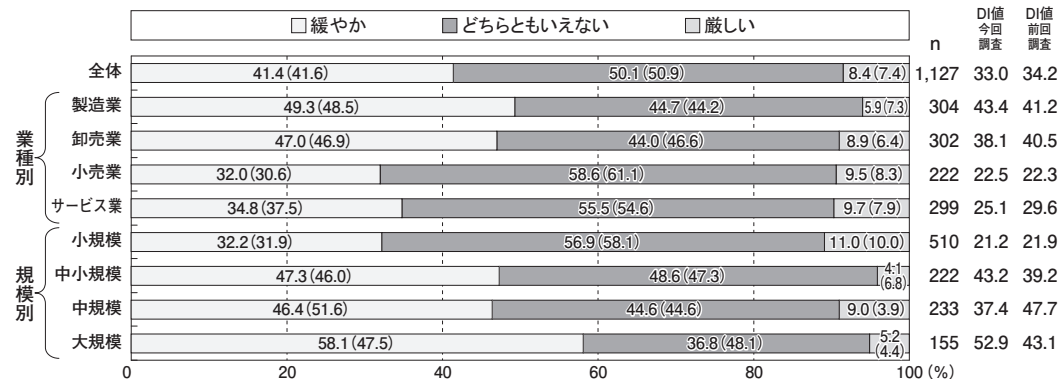
注) 無回答を除き集計。規模別は規模不明を除く。( )内は前回調査(令和3年5月)の数値。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

## 2. 借入や返済に対する姿勢

主な取引金融機関の借入や返済に対する姿勢をDI値（「緩やか」 - 「厳しい」）でみると、全体では33.0（前回調査34.2）となり前回調査と比べて1.2ポイント減少した。

業種別にDI値をみると、製造業と小売業で増加し、卸売業とサービス業で減少した。規模別にDI値をみると、中規模37.4（同47.7）は10.3ポイント減少した一方、大規模52.9（同43.1）は9.8ポイント増加した。

図表2 取引金融機関の借入や返済に対する姿勢



注) 無回答を除き集計。規模別は規模不明を除く。( )内は前回調査(令和3年5月)の数値。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

## 3. 主な取引金融機関からの借入金利

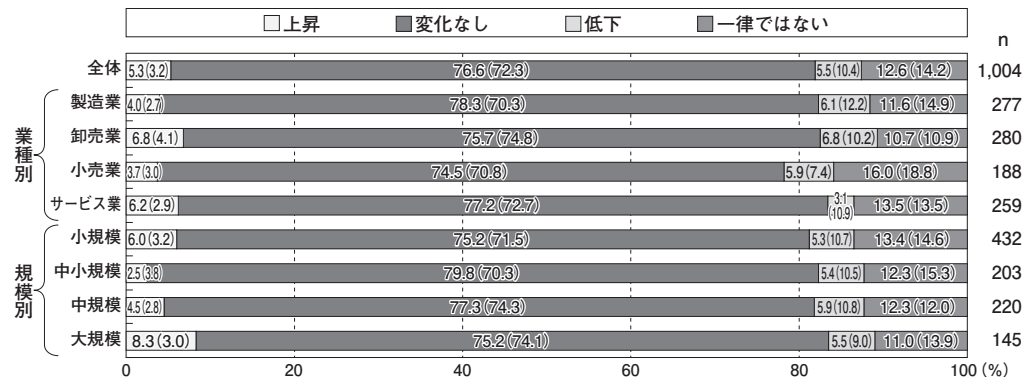
### (1) 金利傾向

主な取引金融機関からの借入金利の傾向は、全体では「変化なし」が76.6%（前回調査72.3%）と最も高い。

業種別にみると、前回調査と比べて全業種で「低下」の割合が減少し、「上昇」と「変化なし」の割合が増加した。

規模別にみると、他の規模に比べて大規模は「上昇」が8.3%（同3.0%）と高い。

図表3 金利傾向



注) 無回答を除き集計。規模別は規模不明を除く。( )内は前回調査(令和3年5月)の数値。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

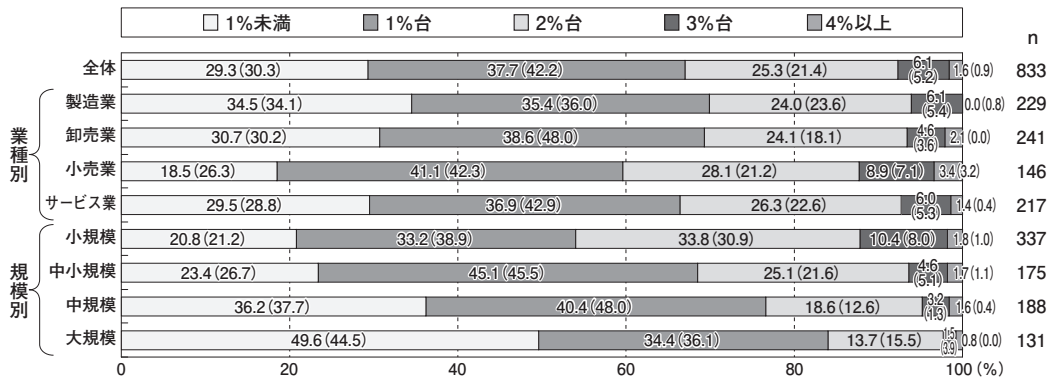
## (2) 金利水準

最近の借入金利は、全体では「1%台」が37.7%（前回調査42.2%）と最も高く、次いで「1%未満」が29.3%（同30.3%）、「2%台」が25.3%（同21.4%）の順で続いた。

業種別にみると、小売業は2%以上が40.4%（同31.5%）と4割を超える。

規模別にみると、規模が小さくなるほど1%以上が高く、小規模では79.2%（同78.8%）となった。

図表4 金利水準



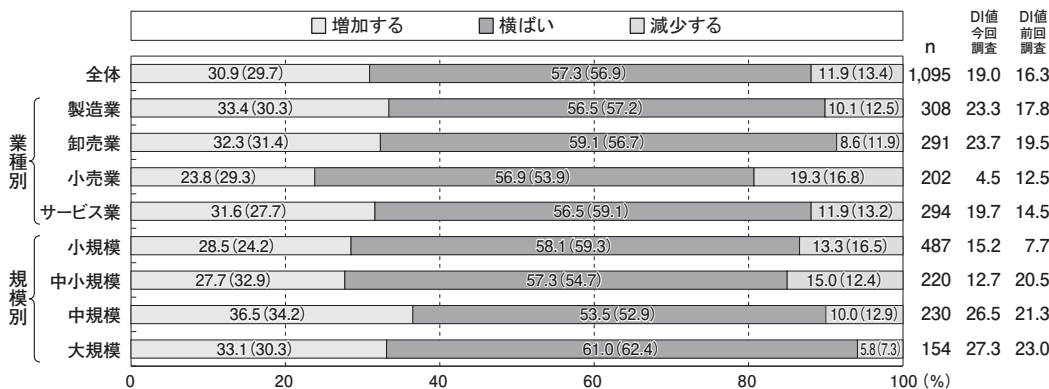
注) 無回答を除き集計。規模別は規模不明を除く。( )内は前回調査（令和3年5月）の数値。  
3年超5年以内、保証協会の保証付以外。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

## 4. 資金需要

### (1) 今後3か月間の資金需要

今後3か月間の資金需要をDI値（「増加する」－「減少する」）でみると、全体では19.0（前回調査16.3）と前回調査と比べて2.7ポイント増加した。

図表5 資金需要（今後3か月間）



注) 無回答を除き集計。規模別は規模不明を除く。( )内は前回調査（令和3年5月）の数値。  
四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

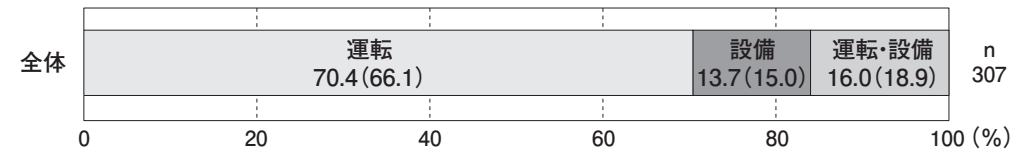
業種別にDI値をみると、製造業、卸売業、サービス業で増加した一方、小売業4.5（同12.5）は8.0ポイント減少した。

規模別にDI値をみると、小規模15.2（同7.7）は7.5ポイント増加した。

### (2) 資金使途

増加する資金需要（今後3か月間）の資金使途をみると、「運転」が70.4%（前回調査66.1%）と最も高く、次いで「運転・設備」が16.0%（同18.9%）、「設備」が13.7%（同15.0%）となった。前回調査と比べて「運転」は4.3ポイント増加し、「設備」が1.3ポイント減少した。

図表6 資金使途

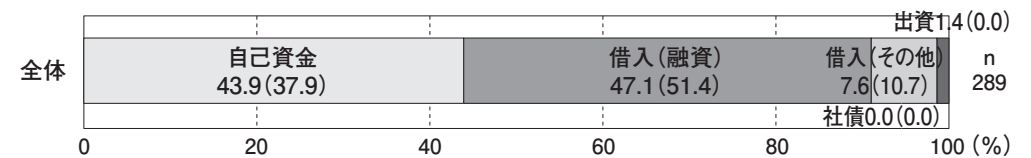


注) 資金需要（今後3か月間）（図表5）で「増加する」と回答した企業のうち無回答を除き集計。  
( )内は前回調査（令和3年5月）の数値。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

### (3) 調達手段

増加する資金需要（今後3か月間）の調達手段をみると、「借入（融資）」が47.1%（前回調査51.4%）と最も高く、次いで「自己資金」が43.9%（同37.9%）となった。前回調査と比べて「自己資金」は6.0ポイント増加し、「借入（融資）」が4.3ポイント減少した。

図表7 調達手段



注) 資金需要（今後3か月間）（図表5）で「増加する」と回答した企業のうち無回答を除き集計。  
( )内は前回調査（令和3年5月）の数値。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

## 5. 金融機関からの借入金総額の状況

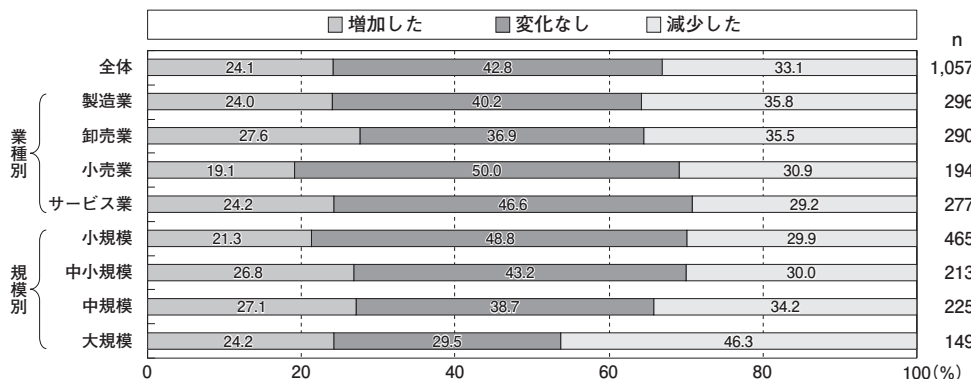
### (1) 借入金総額（前年同時期比）

前年同時期と比べた現在の金融機関からの借入金総額の状況は、全体では「変化なし」が42.8%と最も高く、次いで「減少した」が33.1%、「増加した」が24.1%となった。

業種別にみると、他の業種に比べて卸売業は「増加した」が27.6%と高く、製造業は「減少した」が35.8%と高い。

規模別にみると、規模が大きくなるほど「減少した」の割合が高く、大規模では46.3%となった。

図表8 金融機関からの借入金総額（前年同時期比）



注) 無回答を除き集計。規模別は規模不明を除く。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

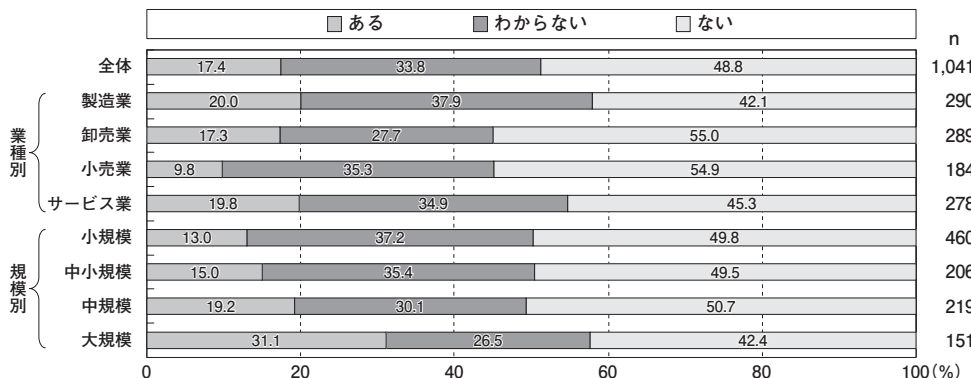
### (2) 借入金総額の増加見込み（今後1年内）

今後1年以内に金融機関からの借入金総額が現在額を上回ることがあるかについては、全体では「ない」が48.8%と最も高く、次いで「わからない」が33.8%、「ある」が17.4%となった。

業種別にみると、卸売業と小売業は「ない」がともに5割を超える。

規模別にみると、大規模は「ある」が3割を占めた。

図表9 借入金総額の増加見込み（今後1年内）



注) 無回答を除き集計。規模別は規模不明を除く。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。